



文 武 両 輪

～学習も行事も部活動も～

令和5年3月9日

【文責】校長 蔦川 誠

希望を胸に!

3月7日(火)、1学年が保護者を招いて希望式を開催しました。

式の流れは、最初に代表の太田さんと梅田さんの作文発表があり、次に一人一人の個人宣言の発表がありました。それから、1年生全員が「自ら行動し、周りから信頼され、妥協せず挑戦し続ける2年生になります」という学年希望宣言を声高らかに唱和しました。

そのあと、保護者代表のPTA1学年委員長の金入様からは「トライアンドエラーの言葉のように、皆さんは様々な方法を試し失敗をしながらも前に進むことが大事」という激励の言葉をいただきました。私からは、「感じる心を普段から研ぎ澄ましていくこと。即座にチャンスをキャッチできるよう準備しておくことが大事」ということをお話しました。最後に、マスクを付けながら校歌を斉唱して、式を終えました。式を通して、私が感じた1年生のすばらしかったことを、以下に載せます。



- ・人前でも堂々とした態度や張りのある声で、自分の夢や目標を発表できたこと。
- ・自分の夢や目標は、聴く人の胸にストレートに届く、決意に満ちた内容だったこと。
- ・ひな壇での姿勢が凛々しく立派だったこと。
- ・発表態度がはつらつとしていたこと。

この1年間の1年生の大きな成長をしっかりと感じさせてくれる、立派な希望式でした。太田さんと梅田さんの作文を紹介します。

1年1組 太田 理香子

私の将来の夢はデザイナーになって世界中を飛び回り、自分のデザイン会社を設立することです。なぜこの夢をもっているかというと、私は絵を描くことが好きであり、絵やデザインで人々を笑顔にしたいからです。世界中の人々に作品を知ってもらい、驚き、笑顔になってほしいと思っています。

夢の実現のために今まで頑張ってきたことは読書です。なぜ読書が夢の実現に必要なことかといえば、本は教科書に載っていること以外のことを教えてくれるからであり、自分が感じていること、自分ならこうするといった固定観念をばきばきと壊していきます。様々な本を読むことによって、多種多様な視点を得ることができ、たくさんの視点から見たものを私はデザインし、届けていきたいです。

今後、夢の実現のために、頑張りたいことは勉強です。それは、勉強をして基礎の知識をもっていなければ、考えを表現できないと考えるからです。いくら素敵な思考をもっている、伝えることができなかったら宝の持ち腐れであり、もったいないと思います。これからも私は多くの経験を重ね知識を増やし、人々を驚かせ、そして笑顔にさせることのできるデザイナーになるため、日々努力していきます。

1年2組 梅田 嘉一

僕の将来の夢は、たくさんアシストができる、視野の広いNBA選手になることです。僕は小学校2年生のときにバスケットボールをはじめ、4年生のときに試合に出る機会がありました。初めはリードしていて勝てるだろうと考えていましたが、ミスが重なり連携が崩れ、逆転負けしてしまいました。自分をもっとよいパスを出していればと、悔しさでいっぱいになりました。

この悔しさを晴らすために、その日から僕は試合で活躍したいという大きな目標ができました。この目標を達成するため、NBAの試合の動画を視聴することになりました。その中で、周りを見ながら的確にパスを出す選手になりたいと強く思うようになりました。正確にアシストして得点につなげるためには、広い視野で物事をとらえる力、瞬時に判断する力、判断したことを行動に移す力が必要です。

これらの力を身に付けるためには、普段の生活でも、常に周りを見てささいなことにも気付き、状況に合った行動ができるよう意識して行動する必要があります。僕は生徒会役員なので、学校全体を見て行動する機会が多くあります。視野を広くもち積極的に行動できる2年生になります。

